

非常放送設備更新工事仕様書

1. 工事概要

本工事は、既存のラック型非常用放送設備（TOA製：FS－971）の老朽化に伴い、ラック型非常用放送設備を更新する工事です。

ラック本体は既設流用とし、現在使用頻度の少ないカセットデッキ、デジタルアナウンスマシンは更新の対象外とします。

機器概要に明記された取替機器等のメーカー・型番等については参考です。

参考で明記されたメーカー・機種からの変更（別メーカー・機種の使用）については、同等以上の性能を有し、かつ施設管理上での不具合が発生しないことを条件とします。万一、メーカー等変更による支障不具合が生じた場合は、責任を持って対応して下さい。

2. 更新機器概要

更新対象となる機器は、アンプ容量1440W、50局のラック型非常用放送設備です。

非常放送以外に緊急地震放送、リモートマイク放送、BGM等の業務放送が可能です。

3. 設置場所

非常放送架＊1…1階防災センター

非常用遠隔操作器＊2…本館地下1階中央制御室、中央館6階事務室用度課

業務用リモートマイク＊1…中央館6階電話交換室

4. 納入期限

令和8年 3月31日（火）

5. 機器概要 ※同等若しくはそれ以上の性能を有すること

(1) 非常用ラック型放送設備

参考型番：TOA FS－2500（50局／1440W）

- ① 非常放送に優先して、緊急地震速報受信端末に連動した、緊急地震放送が行えること。
- ② 別途、設定支援ソフトウェアに搭載されている音源（英語、中国語、韓国語など）を書き込むことで、「三か国語」または「四か国語」に標準で対応することができること。
- ③ 自動火災報知設備に連動して出火階および直上階または全館に感知器発報放送、火災放送などの音声警報による自動放送ができること。
- ④ 非常時には内蔵の音源データと液晶画面による操作方法を指示するオペレーションガイド機能で確実な非常放送ができること。
- ⑤ 内蔵のニカド電池によって、停電時でも10分以上連続して非常放送ができること。
- ⑥ スピーカー1回線当たり最大360 Wまで供給することができること。

- ⑦ 非常用リモコンは拡張性を考慮し、最大16台まで接続できること。
- ⑧ LAN接続等により、各種設定内容や履歴データの読み出しや転送が可能であること。
- ⑨ 動作履歴は30,000件以上記録可能であること。
- ⑩ 外線からの配線は前面で結線ができるなど、施工性・メンテナンス性に優れていること。
- ⑪ 業務放送の外部音源は、優先順位を設定することができること。
各入力の優先度を1～8まで割当てができ、同一優先度では先取りまたは後取り優先の設定ができること。

(2) 非常用遠隔操作器 (非常リモコン)

参考型番: TOA RM-2500 (50局)

- ① 非常放送アンプと同等の放送機能を有していること。
- ② 非常放送以外に、業務緊急放送、通常放送を行えること。

(3) 業務用リモートマイク

参考型番: TOA RM-200F、RM-210F、RM-200RJ (20局)

- ① 個別選択やグループ選択など設定ソフトウェアにて任意に設定することができること。
- ② 火災放送時は、非常放送アンプまたは非常リモコンからの放送が優先され、本リモートマイクからの放送はできないこと。

6 一般事項

- (1) 本仕様書は、本修繕の基本的内容について定めるものであり、本仕様書に明記されていない事項であっても、本修繕の目的達成のために必要な処理については、受注者の責任においてこれを行うこと。